

ASABA

SP-10X SP-15X

樹脂背のう噴霧機

共通取扱説明書

このたびは樹脂背のう噴霧機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり正しく使用してください。お読みになった後はいつでも読める場所に保管してください。

本取扱説明書では、安全上重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。



その警告に従わなかった場合、けがを負う危険性のあるもの

— 目 次 —

◇安全のために必ずお守りください.....①	
作業の前に	
農薬・薬液の取り扱い	
作業中	
作業後と保管	
◇梱包部品一覧.....②	
◇各部の名称.....③	
◇用途.....③	
◇仕様.....③	
◇使用方法.....④	
使用前の準備	
作業の前に	
作業方法	
使用後の手入れと保管	
◇故障と対策.....⑨	







〒381-8530 長野県 長野市 北長池 1443-2

☎ 026-244-1317

URL : <https://www.asaba-mfg.com>

○注意事項について

本取扱説明書で  の表示のある注意事項や機械に貼られた  の表示のあるラベルでは、安全上重要と考えられる取扱上の注意事項を次のように表示しています。

-  **警告** …その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになります。
-  **注意** …その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
- 注意** …その警告文に従わなかった場合、けがを負う恐れがあります。

安全のために必ずお守りください

★作業の前に

- 次に該当する方は、この製品を使用しないでください。
 - 酒気をおびた者
 - 過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者
 - 妊娠中の者
 - 満15歳未満の者
 - 負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者
- 作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。
- 安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
- 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。
- この製品を他人に貸与または譲渡する場合は必ず取扱説明書も添付し、取扱説明書を良く読むことを喚起してください。
- 薬害を起こす危険性がありますので、製品本体は防除、除草での兼用使用はしないでください。

★農薬・薬液の取り扱い

- 防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
- 調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。
薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
- 安全性を損なう恐れがありますので、40℃以上の温水、発熱性の薬品は使用しないでください。
- 農薬は必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
- 誤使用、誤飲の危険がありますので、農薬は絶対に別の容器に移し替えないでください。

⚠️★作業中

- 農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- 水道、河川、水源地、池、沼、下水等を汚染しないように、また、人体や必要以外の作物、動植物にかからないよう風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- 薬液を入れた状態でタンクを傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液が出る場合があります。薬液タンクは傾けたり、落下させないでください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じまたは気分が少しでも悪くなった場合には直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 作業中に噴口部を清掃または交換する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ずコックを停止の状態とし、噴口部を取り外してから行ってください。

⚠️★作業後と保管

- ポンプ～ホースが加圧された状態で接続部を取り外すと薬液が噴き出す恐れがあります。接続部を外す前に周囲の状況を確認し、コックを吐出状態とし、ポンプ～ホース内の圧力を抜いてください。
- 作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに目の水洗いとうがいをしてください。また作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。
- 余った薬液及び機械の洗浄水は、水道、河川、水源池、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処理してください。
- 使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 前回使用した薬液が、タンク、ホース、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を充分に洗い流してください。

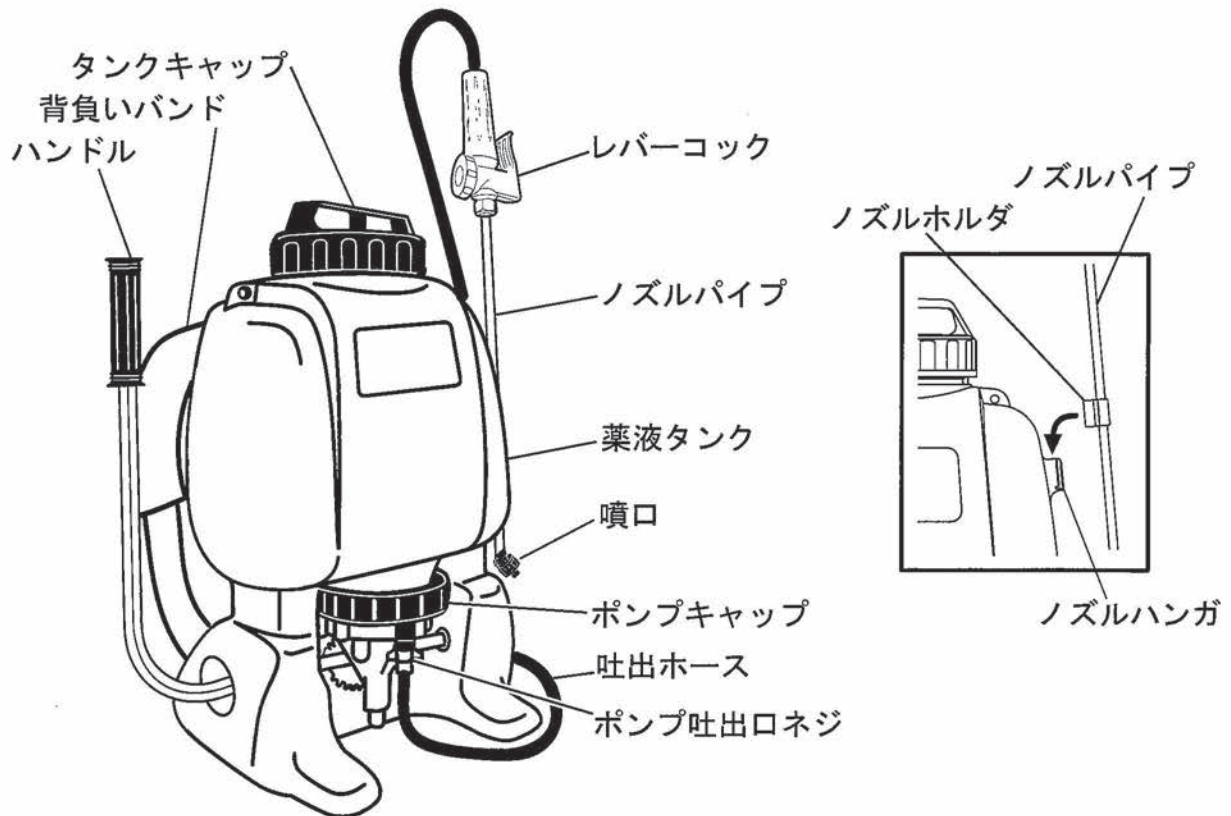
梱包部品一覧

最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。

もしも不具合な点などがありましたら、製品と共にお買い上げの販売店にお知らせください。

製品名：樹脂背のう噴霧機	型 式	
	10ℓ: SP-10X	15ℓ: SP-15X
品 名	数 量	
本体部一式（背負いバンド、ハンドル付）	1	
コック付吐出ホース G1/4	1	
ノズルパイプ 8-490 G1/4	1	
樹脂縦型2頭口 G1/4	1	
スーパー25人力用1頭口 G1/4	1	
取扱説明書（保証書付）	1	

各 部 の 名 称



10ℓモデル	15ℓモデル
製造番号ラベル 	製造番号ラベル 

用 途

- 一般農園芸用薬品を用いた防除
- 除草剤の散布
- 散水
- 野菜、果実、草花等へのホルモン剤の散布

仕 様

型 式	SP-10X	SP-15X
液容量 (ℓ)	10	15
全容量 (ℓ)	11.8	17.5
本機寸法 (mm)	H545×W410×L190	H590×W410×L245
本機質量 (kg) ※1	4.5	5.2
常用最高圧力 (MPa)	0.4	
タンク材質	高密度ポリエチレン	

※1) 乾燥時質量です。

※2) 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

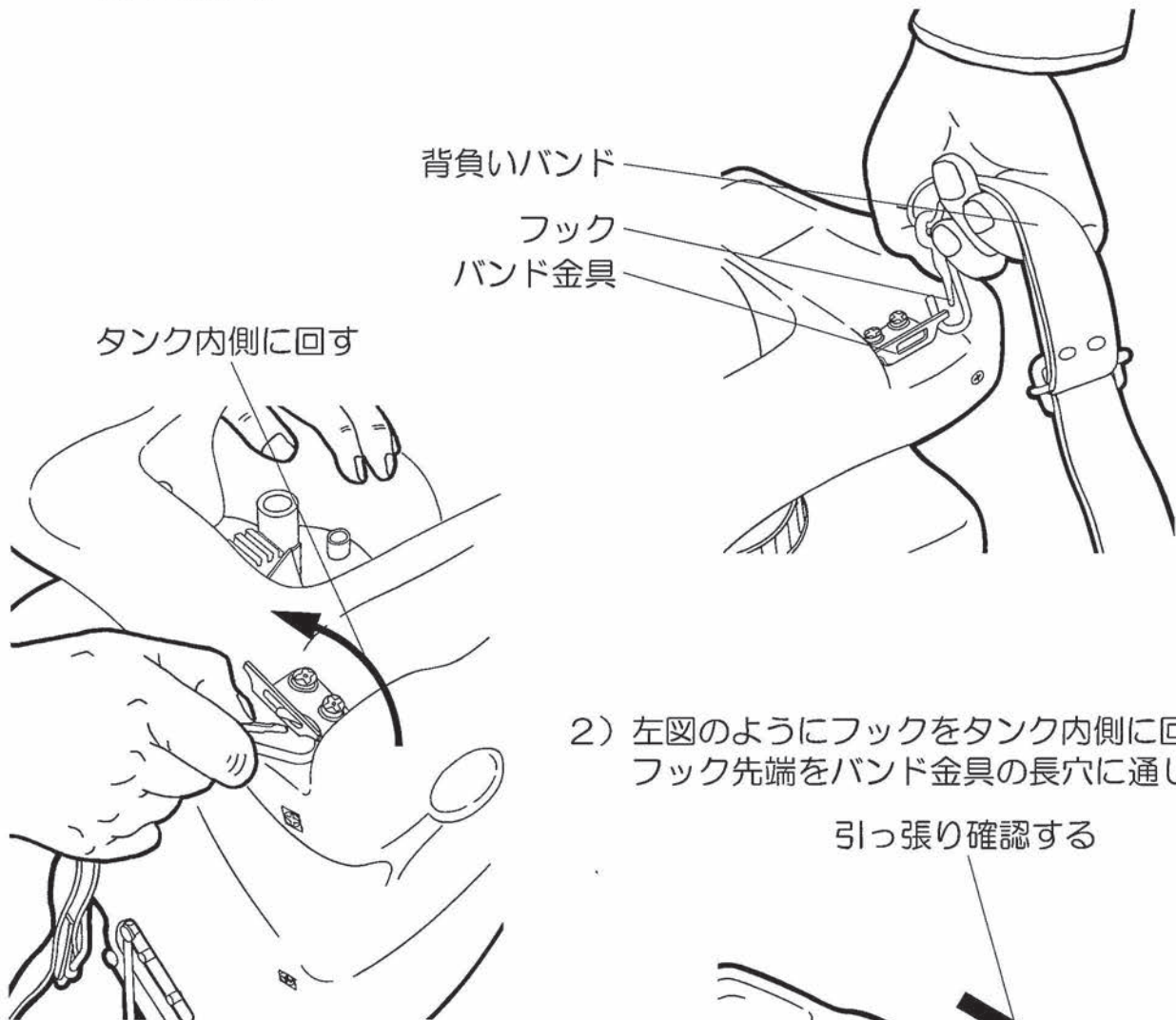
使 用 方 法

1. 使用前の準備

①—1 背負いバンド下部の取り付け（両機種共通）

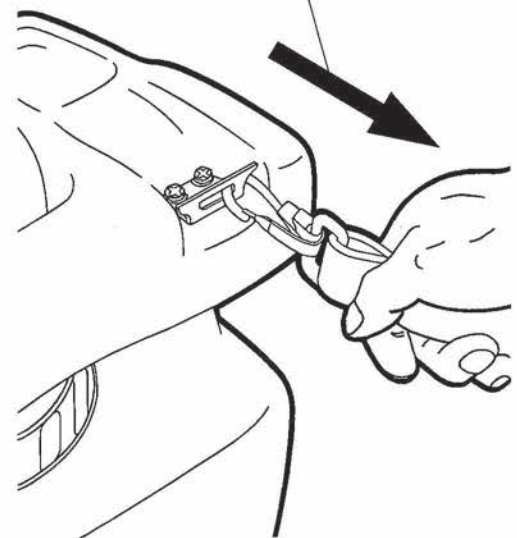
付属の背負いバンド下部のフックを次のように取り付けます。

- 1) バンド金具の外側のタンクとのすき間に、下図のように背負いバンドのフックを通します。



- 2) 左図のようにフックをタンク内側に回し、フック先端をバンド金具の長穴に通します。

引っ張り確認する



- 3) 背負いバンドを引っ張りフックが確実に取り付けられていることを確認します。
- 4) 背負いバンドを作業しやすい長さに調節します。

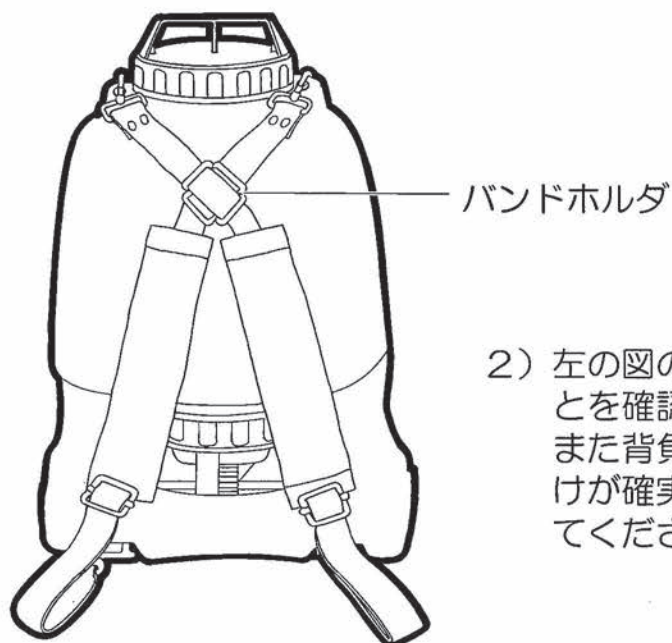
以上で背負いバンドの取り付けは完了です。
上記のように取り付けると本機を地面に置いたとき、バンドのフックが本機と地面の間にはさまらなくなります。

①-2 背負いバンドの取り付け【10Lモデル】

付属の背負いバンドフックを次のように取り付けます。



- 1) 付属した背負いバンドのバンドホルダ側のフックをタンク上部の穴に掛けます。(本製品は出荷時に取り付けられています。取り付けが確実に行われていることを確認してください。)

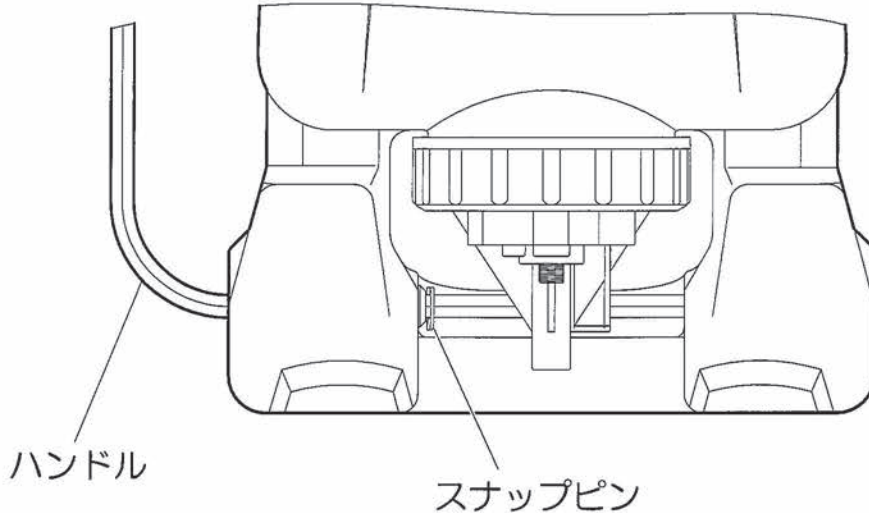


- 2) 左の図のように取り付けられていることを確認してください。また背負いバンドを引っ張り、取り付けが確実に行われていることを確認してください。

②ハンドルの調整

機能を最大に発揮させ、長くご使用いただくためにハンドルの位置を調整してください。工場出荷時は、標準の体位に合わせてあります。

- スナップピンを抜き、歯車の歯合いをずらしハンドル稼働位置を調整します。
- 調整後はスナップピンを戻します。



※この背負い噴霧機のハンドルは左手操作専用です。右手操作への変更はできませんのでご注意ください。

2. 作業の前に

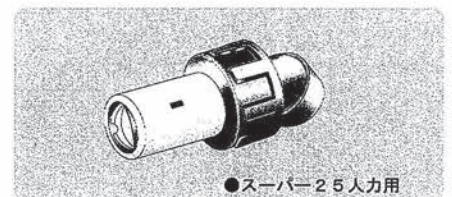
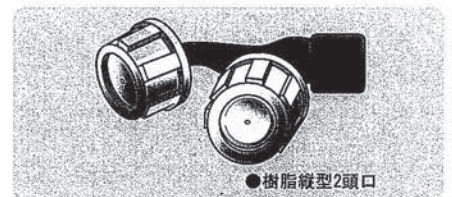
①部品の取り付け

ポンプ吐出口ネジにホースの蝶ナットをしっかりと締め込み、ノズルパイプ、噴口の順番に接続します。

- ※各接続部にパッキンの脱落がないことを確認してください。
- ※各接続部は薬液の漏れがないようにしっかりと接続してください。
- ※吐出ホースに亀裂、摩耗、破損がないことを確認してください。

【噴口の主な用途】

- 樹脂縦型2頭口
用途：一般防除用（殺虫剤、殺菌剤）
- スーパー25人力用
少量散布除草剤専用の噴口です。
発泡ノズルの為、散布跡が白く見え、まきむらや重複散布を防げます。
用途：少量散布除草剤用（10アール当たり25ℓ）



②薬液の調合、充填

タンクキャップを外しストレーナを通して、調合した薬液をタンクに入れます。

⚠注意

- 薬液は他の容器で調合してください。やむを得ず薬液タンク内で調合する場合は、必ず最初に水を所要量の半分ほど入れてから薬品を入れ、残りの水を入れ希釈してください。また、薬液の調合は、必ず薬品メーカーの指示に従ってください。
- 薬液を入れる前にコックは必ず閉じた状態にしてください。
- 本機を背負う前にタンクキャップは確実に締めてください。
- 薬液を入れた状態でタンクを傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液が出る場合があります。薬液タンクは傾けたり、落下させないでください。
- 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。

重要

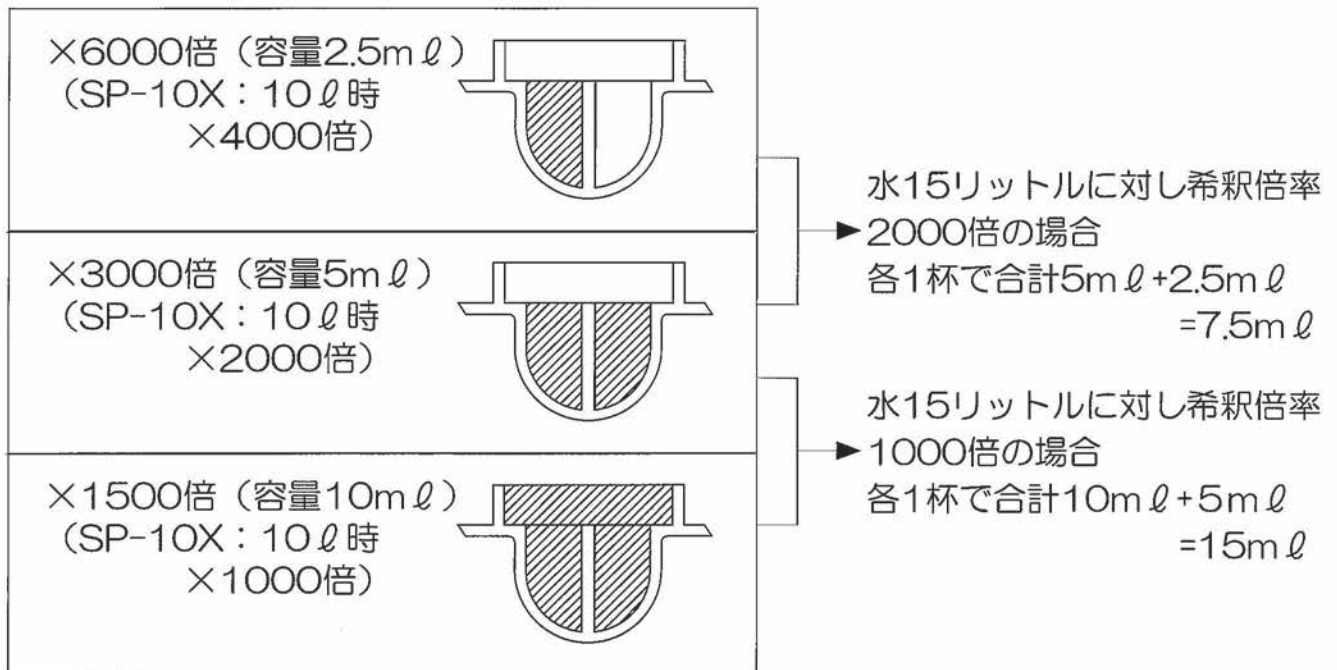
- 土壌消毒剤・土壌燻蒸剤は、故障の原因となりますので、使用しないでください。

③計量カップ付きストレーナの使用方法

計量カップはストレーナの裏面に装備されています。

希釈倍率はタンク満水時（SP-15X：15ℓ）の場合です。

下記の希釈倍率表を参考に使用してください。



希釈倍率表（単位はmℓ）

希釈倍率	100倍	200倍	400倍	500倍	1000倍	2000倍
5ℓ	50	25	12.5	10	5	2.5
10ℓ	100	50	25	20	10	5
15ℓ	150	75	37.5	30	15	7.5

⚠注意

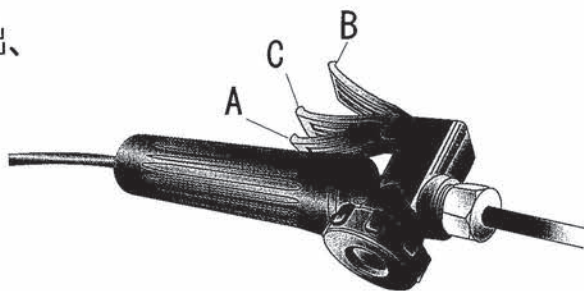
- 使用後は薬剤をきれいに排出後、清水で良く洗い乾燥させて保管してください。
- 余った薬液及び機械の洗浄水は、水道、河川、水源池、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処理してください。

3. 作業方法

① コックの取り扱い

コックはレバーを操作することによって吐出、停止を切り替えできます。

- Aの方向にレバーを握るとコックが開き、放せば霧が止まります。
- Bの方向にレバーを移動させると連続噴霧ができます。（霧を止める時はCの位置にレバーを戻してください。）



⚠注意

- 噴霧作業中以外はコックを停止の状態にしてください。

② 噴霧作業

⚠注意

- 約0.4MPaで作動する安全弁が付いていますが、無理な加圧は絶対に行わないでください。
- 加圧した状態で長時間放置しないでください。
- 薬品の吸入や付着による事故を防ぐため、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、保護衣、作業靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または気分が少しでも悪くなった場合には直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 噴霧状態が悪化した場合など噴口部を清掃する場合は、顔面に薬液がかかる恐れがありますので、必ずコックを停止状態にして清掃してください。

4. 使用後の手入れと保管

① 各部の洗浄

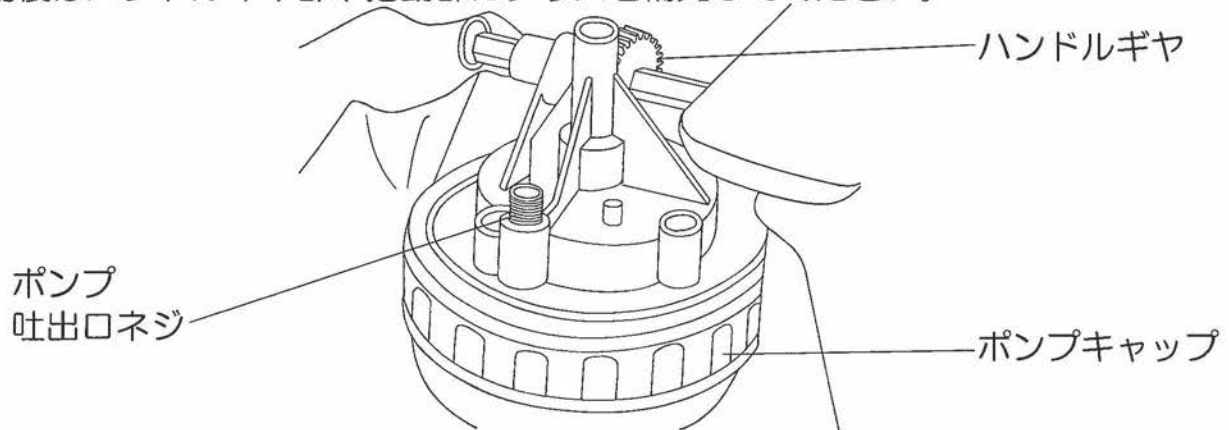
- 1) タンク内の残液を抜き、清水で洗い流してください。
- 2) 再度タンクに清水を入れ、コックを吐出の状態ハンドルを操作してホース、コック、ノズルパイプ、噴口部に残った薬液も洗い流してください。
※完全に薬液が出終わるまでコックは噴霧の状態にしてください。
- 3) タンク、ポンプ部内の残液は、必ず吐出ホースを外し排水してください。

⚠注意

- ポンプ～ホースが加圧された状態で接続部を取り外すと薬液が噴き出す恐れがあります。接続部を外す前に周囲の状況を確認し、コックを吐出状態とし、ポンプ～ホース内の圧力を抜いてください。
- 余った薬液及び機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- 使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 前回使用した薬液が、タンク、ホース、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を充分に洗い流してください。

②お手入れ

使用後はハンドルギヤ部や摺動部にグリスを補充してください。



③保管

本機洗浄後は、乾燥した布で水気を拭き取り、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。

⚠注意 ・子供の手の届かない場所に保管してください。

※プラスチック部品は直射日光に長期間さらされると、著しく強度が低下する場合があります。また、ラベル類も変色したり、はげやすくなったりしますので保管には充分注意してください。

故 障 と 対 策

不 具 合 事 項	原 因	対 策
ハンドルを操作しても加圧されない	ピストンパッキンの傷または摩耗	販売店にご相談ください
	安全弁パッキンへのゴミの付着または摩耗	販売店にご相談ください
加圧するハンドルが押し戻される	吐出弁パッキンへのゴミの付着または摩耗	販売店にご相談ください
ポンプ下部のラック部からの水漏れ	×リングの摩耗	販売店にご相談ください
ポンプキャップ部よりの水漏れ	ポンプキャップのゆるみ	増し締めする
噴霧状態が悪い	加圧されない	販売店にご相談ください
	噴口のゴミ詰まり	清掃する

⚠注意 各部品の交換は、組み付けが不良の場合、事故になる危険がありますので、必ず販売店に依頼してください。

その他ご不明の点は販売店にご相談ください。

—メモ—

A grid of 20 horizontal dashed lines for writing notes.

製品保証書 (大切に保管してください)

- この度は弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
弊社では、本製品を末永くご使用いただくため、保証業務を行っております。
1. 本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたのですが、万一保証期間内に、注意ラベル、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、商品に本保証書を添えて、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
 2. 保証期間内でも次のような場合は有料修理になります。
 - ①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、又は損傷。
 - ②火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障、又は損傷。
 - ③消耗部品（バッキン、リング等）の損耗交換時の部品代及び修理代。
 - ④保管状態が適当でない場合の故障、又は損傷。
 - ⑤本保証書のご提示がない場合。
 - ⑥本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を弊社の承認を得ることなく修正した場合。
 3. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※本保証書に記載された内容のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するもので、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理等についてのご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および、その後の安全活動のためにご利用させていただく事がございますのでご了承ください。

品名:型式 背のう噴霧機 SP-10X/15X
(NAME:MODEL)

製造番号

保証期間 お買上げ 年 月 日より
1年間 (但し、消耗品は除く)

お客様

フリガナ

お名前

ご住所 〒

TEL

取扱販売店

店名/住所/電話

修理メモ



〒381-8530 長野県 長野市 北長池 1443-2

TEL : 026-244-1317

URL : <https://www.asaba-mfg.com>